

レルミナ錠®を内服後に子宮筋腫で手術され、手術前に MRI 検査を受けられた患者さんの検体・情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の当院の問い合わせ窓口までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 子宮筋腫に対する手術前 GnRH 拮抗薬使用での子宮筋腫容積変更予測因子の調査

[当院の研究責任者] 臨床検査科 産婦人科 元島成信

[研究の背景]

子宮筋腫に対する手術前に GnRH 拮抗薬（レルミナ錠）を使用することで、子宮筋腫の縮小が期待できるため、より体の負担が少ない手術を行える可能性があります。どのくらいの子宮筋腫の縮小があるかを事前に予測できませんので、事前に予測する手段を明らかにすると、子宮筋腫の患者さんの利益になります。

[研究の目的]

子宮筋腫に対する手術前に、子宮筋腫の縮小にレルミナ錠が有効かを予測する手段を調査することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2018 年 5 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日の間に子宮筋腫で手術され、手術前にレルミナ錠を使用した患者さん

●研究期間：西暦 2023 年 11 月 15 日から西暦 2027 年 12 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：MRI 画像、病理標本

カルテ情報：最終診断名、検査時年齢、症状、手術様式

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

●検体や情報の管理

検体や情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学術集会や学術誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

臨床検査科 産婦人科 元島成信

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881